観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和７年７月３１日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ（地域ＤＭＯ）	
観光地域づくり法人の名称	（一社）糸島市観光協会	
マーケティング･マネジメント対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 福岡県糸島市	
所在地	福岡県糸島市	
設立時期	平成 27 年 4 月 1 日	
事業年度	４月１日～翌年３月３１日の１年間	
職員数	12 人【常勤 4 人（正職員 3 人、契約職員 1 人）、パート 8 人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	（氏名） 田中　信彦 （出身組織名） （有）白糸酒造	(一社)糸島市観光協会 代表理事会長 創業安政2年(1855年)の歴史ある造り酒屋の7代目蔵元であり、“はね木搾り”という全国でも珍しい創業以来の伝統製法を守って伝えている。毎年2月･4月に蔵開きのイベントを実施し、自身の資源をもって、地域における交流人口の拡大に尽力するだけでなく、地域内外における人的ネットワークや人脈を有し、市の観光振興に貢献している。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー）	（氏名） 貝通丸　希 （出身組織名） (一社)糸島市観光協会	(一社)糸島市観光協会職員　2023 年 1 月入職。前職までの多種多様な経験をもとに、観光地域マーケティングについて習得中。2024 年度は休職、2025 年 4月復職。 【専従】
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー）	（氏名） 髙田　秀峰 （出身組織名） (一社)糸島市観光協会	(一社)糸島市観光協会職員　2021 年 5 月入職。 前々事務局長時より、財務計画等担当。理事会に現状と計画等の報告、提案を行っている。 【専従】
プロモーション責任者（専門人材）	（氏名） 貝通丸　希 （出身組織名） (一社)糸島市観光協会	(一社)糸島市観光協会職員　2023 年 1 月入職。前職までの多種多様な経験をもとに、観光地域マーケティングについて習得中。2024 年度は休職、2025 年 4月復職。【専従】
各部門（旅行商品の造成･販売）の責任者（専門人材）	（氏名） 髙田　秀峰 （出身組織名） (一社)糸島市観光協会	(一社)糸島市観光協会職員　2021 年 5 月入職。 前職の旅行会社経験を活かし、着地型旅行商品開発ならびに域内二次交通の整備を進める。総合旅行業務取扱管理者資格を有しており、地域限定旅行業を取得し、着地型商品造成を行っている。

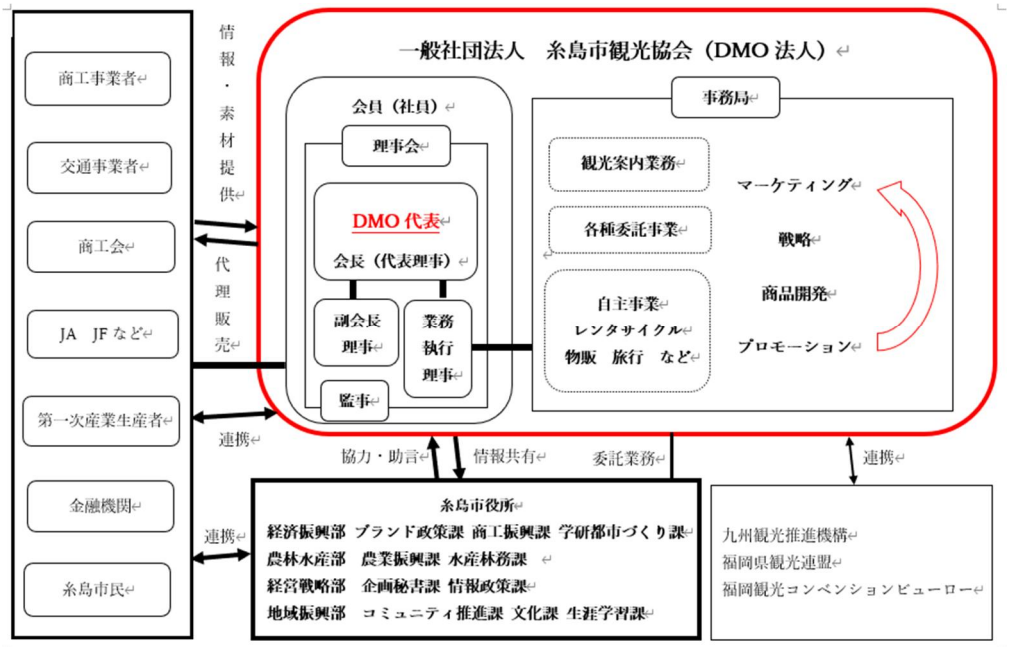
（別添）様式１

連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	■糸島市 ＊市役所の関係課が一同に参集し会議を開催する「糸島市観光振興基本計画連絡調整会議」にてＤＭＯに係わる事業等に関して横断的に意見を取りまとめる。 ・経済振興部ブランド政策課（部署名変更市役所内部取りまとめ窓口＊） （観光政策・観光商品の企画・立案/広域観光/観光施設整備・活用/観光 PR・マーケティング等） ・農林水産部農業振興課・水産林務課 （グリーン・ツーリズム推進/農林水産品ブランド化・販路拡大／6次産業化等） ・経営戦略部企画秘書課・情報政策課 （各種調査・統計情報の提供/総合計画・各種戦略策定・情報発信） ・地域振興部コミュニティ推進課　経済振興部学研都市づくり課 （行政区コミュニティの基盤整備/国際交流/定住促進/公共交通の整備/九州大学との連携・活用等） ・地域振興部　文化課・生涯学習課 （芸術・文化・スポーツイベントの企画・立案/文化財・文化施設等の整備・活用等） ■他市町・団体との連携 ○（一社）九州観光機構 （九州広域連携による観光商品づくり、PR、誘客） ○（公社）福岡県観光連盟 （福岡県広域連携による観光商品づくり、PR、誘客） ○（公財）福岡観光コンベンションビューロー （福岡市及び都市圏市町との連携による観光商品づくり、PR、誘客）
連携する事業者名及び役割	○JA糸島農業協同組合、JF糸島漁業協同組合、糸島市商工会、糸島旅館組合、九州大学、市内で活動するボランティアガイド団体等 （地域資源の活用：着地型観光商品の開発等） ○中村学園大学、九州大学 （マーケティング、各種統計調査等） ○JR九州、昭和自動車(株)、市内に事業所を有するタクシー事業者、貸切バス事業者、レンタカー事業者等 （交通アクセス整備）
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	①　及び② ①　当協会には多種多様な業界から会員345名（企業・団体・個人）が参画し、各種業界を代表する会員が役員となっている。役員により構成する理事会において、糸島市の観光に関する事業等を協議するほか、年1回総会を開催し、方向性や経営状態の確認・共有を行っている。 ②　多様な業種の関係者が参画する「観光協会理事会」を設置済み。今後実施するマーケティング等に基づいた観光施策について関係者との合意・連携・協働を図り、観光産業の育成、振興に取り組んでいく。

（別添）様式１

<table>
<tr><td>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</td><td>○HP・SNS等の活用により、糸島市民が糸島のことを知る機会をつくり、郷土愛を醸成することで、糸島のまちづくり、地域づくりに興味・関心をもってもらう。
○合意形成について、当協会理事や行政または、当協会の事業、活動を通じて、事業者、市民に説明、啓発活動を行い、理解を深めていく。</td></tr>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td>【活動の概要】
<table>
<tr><th>事業</th><th>実施概要</th></tr>
<tr><td>情報発信・プロモーション</td><td>・2024 年情報発信事業
具体事業内容（糸島市委託事業）
観光協会 HP において、情報提供の都度更新
SNS(インスタ、fb、X)発信＃つなぐ糸島
英語サイトコンシェルジュ機能
・2024 年真鯛フェア
具体事業内容（糸島市委託事業）
真鯛の水揚げ日本一と真鯛料理の店の告知
HP、SNS、新聞 TV ラジオなどのマスコミ取材
・2024 年九州観光素材商談会、ツーリズム EXPO 東京
具体事業内容
2 月に東京、大阪、福岡で開催された旅行事業社
マスコミへの地域観光素材のプロモーション、商談会。
9 月に東京で行われたツーリズム EXPO にて BtoC,
BtoB 情報発信、SNS 二次元バーコード拡散</td></tr>
<tr><td>受入環境の整備</td><td>・2024 年観光マップ造成事業
具体事業内容（市役所補助金利用）
糸島市内の観光、飲食、宿泊を紹介したマップ作成
日本語版+英語版作成
・2024 年域内周遊バスツアー運行事業
具体事業内容
カキ小屋と域内観光地周遊バスツアー４本
専門ガイド付歴史地区散策バスツアー
真鯛料理と周遊バスツアー４本</td></tr>
<tr><td>観光資源の磨き上げ</td><td>・2024 年糸島市着地型商品造成
域内事業者と連携で体験プランの代売
・2024 年糸島真鯛フェア
具体事業内容（糸島市委託事業）
真鯛料理提供店舗紹介、誘客
・2024 年糸島カキ、真鯛、歴史バス運行事業
具体事業内容
① 糸島の歴史を深く掘り下げる、ガイド付歴史ツアー
② 観光地とカキ小屋、真鯛料理をつなぐ周遊バスツアー</td></tr>
</table>
［定量的な評価］
○観光入込客数
R4年:6，829千人⇒R5 年7，232千人（糸島市観光入込客推計調査による）
○延べ宿泊者数
R4 年:145 千人⇒R5 年171千人（糸島市観光入込客推計調査による）
○会員数</td></tr>
</table>

（別添）様式１

	R5 年度:335人(正会員)⇒R6 年度:342人(正会員) ○観光案内所窓口の利用者数 R5 年度:16, 933人⇒R6 年度:19, 166人 ○レンタサイクル事業の利用者数 R5 年度:7, 011人⇒R6年度:6, 535人 ○ホームページアクセス数(訪問数) R5年度:916, 700件⇒R6年度:1, 061, 338件
実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。	［実施体制の概要)］ ○(一社)糸島市観光協会では、行政、観光関連事業者、団体、経済団体のみならず、宿泊事業者、飲食事業者、農業者、文化・スポーツ団体など市内の多様な関係者が参画する総会、代表理事、業務執行理事等役員で組織する理事会を中心に、着地型観光(集客交流事業)の開発・販売、産品の開発・販売等の収益事業を推進している。 ○観光プロモーション、観光情報の発信などについては、行政との連携を図り、情報発信、プロモーションの一元化を推進する。 ［実施体制］ 

（別添）様式１

２．観光地域づくり法人がマーケティング･マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

【区域設定の考え方】

○平成21年(2009年)1 月に、前原市･志摩町･二丈町の1市2町で合併し、糸島市が発足。その後、平成22年1月に3市町の観光協会も合併し、糸島市観光協会が設立され、平成27年 3 月に一般社団法人となった。また、糸島市でも、平成23年3月に、3市町の持ち味を活かした魅力的な糸島市の観光の推進と、観光関連事業者のみならず、農林漁業、商業、工業はじめとした地場産業の連携による観光地域づくり推進の指針として、「糸島市観光振興基本計画」を策定し、3地域の連携による着地型商品の開発、観光 PR など観光まちづくりの取組を展開していることから、当該区域での設定が適切である。

【観光客の実態等】

① 令和 2 年の観光入込客数は699万7千人で、令和 6 年は753万 9 千人まで増大している。
② 観光協会窓口来訪者の外国人は、コロナ終息後令和4年10月以降、急激に増えている。
③ コロナ禍の観光入込客数最低は令和3年545万8千人であった。
④ 逆に糸島市観光協会窓口の国内旅行者は、令和5年度以降減少に転じている。
⑤ 令和5年度から運行の福岡市内から二見ヶ浦直通バス『ウェストコーストライナー』や、九大学研都市駅からの『西の浦線』の乗客が増えており、たびたび増便されている。
⑥ 観光協会のレンタサイクル利用者の大半は二見ヶ浦を訪れており、先述のバス客が増え、観光協会窓口来訪者数が減っている事を見ると、単純に全体的な来訪者が増えているとは言えない。
⑦ 令和6年度に二見ヶ浦から芥屋地区へつなぐバス『サンセットライン』が運行開始したが、乗客は少ない。
⑧ 電動アシスト自転車のほか、電動キックボード、電動 TUKTUK などの EV モビリティも増えた。

（別添）様式１

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

○「伊都菜彩」、「福ふくの里」、「志摩の四季」などの直売所（18 か所）

○カキ小屋

○「いとしま市民まつり」「クラフトフェス」「ハンドメイドカーニバル」などの特色あるイベント

○二見ヶ浦～野北海岸のサンセットロード（風景・夕日・リゾート感あるレストランなど）

○サーフィン、フォレストアドベンチャーなどの自然一体型体験

○陶磁器、工芸、アクセサリーなどの手仕事作家の工房（150 か所以上）

○古民家レストランなど地域の食材がおいしく味わえる飲食店

○こだわり雑貨店やギャラリー、カフェ

○「高祖神楽」、「福井神楽」、「二見ヶ浦夫婦岩大注連縄掛祭」などの伝統行事

○「糸島三都110km ウォーク」、「福岡市民マラソン」などのスポーツイベント

○伊都国の歴史を記す古墳や伊都国歴史博物館など考古学スポット

○「雷山千如寺大悲王院の大楓」、「笹山公園、池田川の桜」、「浮嶽つつじ祭」などの花や紅葉めぐり

○脊振山系の山（雷山・井原山など）、白糸の滝など山エリアの自然

（別添）様式１

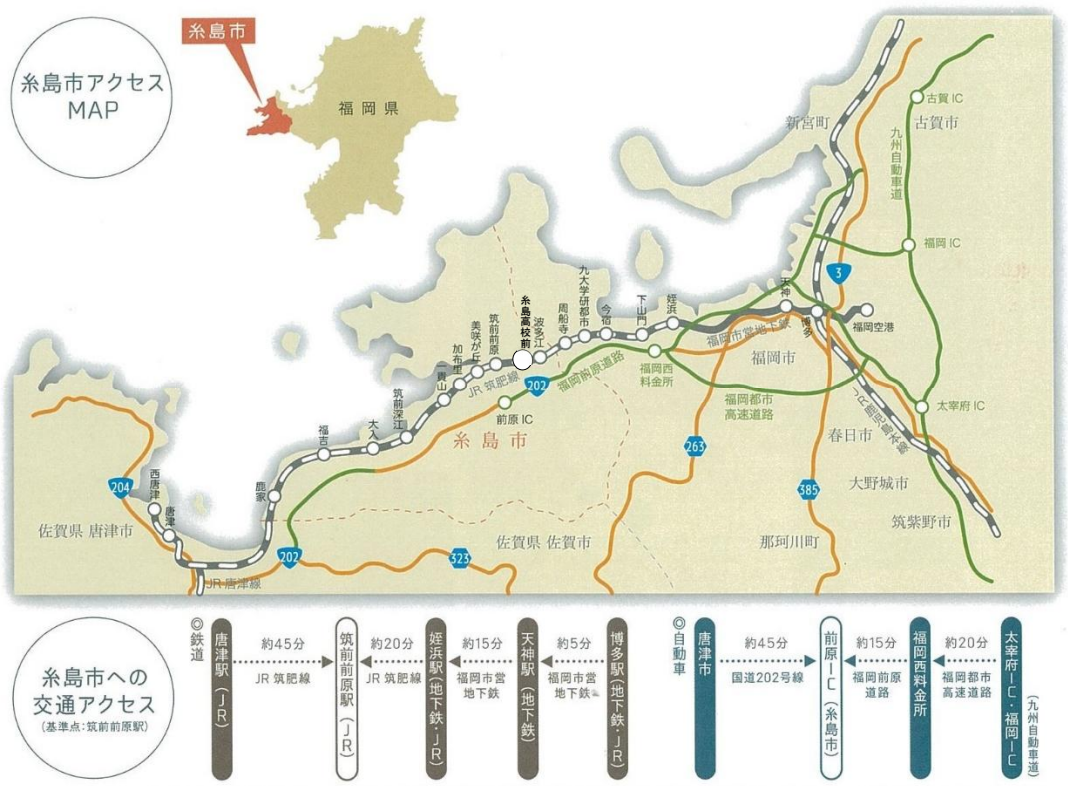
【宿泊施設:域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

名称	業態	許可種別	収容数	
			部屋数	人数
ホテルニューガイア糸島	ビジネスホテル	ホテル	64	72
ホテルAZ	ビジネスホテル	ホテル	257	369
グローカルホテル糸島	食事処・ホテル	ホテル	85	147
深江観光ホテル	ホテル	旅館	12	60
大庭旅館	食事処・旅館	旅館	5	12
初音旅館	旅館	旅館	11	50
喜八荘	食事処・旅館	旅館	6	25
bbb haus	ゲストハウス	旅館	5	12
オーベルジュ山ぼうし	旅館	旅館	1	4
憎伽小野一秀庵	お食事処・旅館	旅館	3	12
磯の屋	活魚料理・民宿	民宿	6	30
民宿・食事処なぎさ	活魚料理・民宿	民宿	4	18
朝日屋	民宿	民宿	6	25
アッカプントエッフェ	アグリツーリズモ	民宿	2	8
コテージ凛	ペットと泊まれる宿	簡易宿泊所	1	5
ゲストハウスいとより	ゲストハウス	簡易宿泊所	3	12
糸島ゲストハウス小春	ゲストハウス	簡易宿泊所	1	8
前原宿ことのは	ゲストハウス	簡易宿泊所	2	8
Cocoon	ペットと泊まれる宿	簡易宿泊所	2	3
瑞梅寺苑	貸別荘	簡易宿泊所	2	16
翼宿	ゲストハウス	簡易宿泊所	4	12
guest house凪	ゲストハウス	簡易宿泊所	5	8
Itoshima Nogita House	ゲストハウス	簡易宿泊所	1	4
LANA-SEA	ゲストハウス	簡易宿泊所	1	10
うぐいす座	ゲストハウス	簡易宿泊所	1	6
ゲストハウスTOMO	ゲストハウス	簡易宿泊所	5	18
ゲストハウス糸結	ゲストハウス	簡易宿泊所	4	14
里や	ゲストハウス	簡易宿泊所	2	10
HATAMA　House	ゲストハウス	簡易宿泊所	2	4
糸島のグランピングnijo	グランピング	簡易宿泊所	2	8
SDGsヴィレッジ地球MIRAI	グランピング	簡易宿泊所	4	20
収容数合計			**509**	**1,010**

（別添）様式１

【利便性：区域までの交通、域内交通】

〇糸島市までの交通アクセス



〇市内2次交通

糸島市では、昭和バス3路線《芥屋線・野北線・船越線》と糸島市コミュニティバス「はまぼう号」9路線《初深江線・九大線・白糸線・曽根線・井原山線・雷山線・川原線・前原今宿線・市街地循環線》が運行しています。運賃は、どの路線も定額200円。ぜひ、ご利用ください。

※「はまぼう」とは、アオイ科フヨウ属の植物で、糸島市の花に制定されており、7月初旬頃に市内の雷山川河口付近や羅漢川河口付近で黄色い可憐な花を咲かせます。

◎お問い合わせ

●糸島市コミュニティバス／TEL：092-331-8831

タクシー

●西日本自動車（株）
TEL：0120-192-420
●昭和自動車（株）
TEL：0120-408-365
●ワーカーズコープタクシー
TEL：0120-848-660
●亜細亜タクシー
TEL：092-322-4677

レンタカー

●ニコニコレンタカー
糸島市前原中央2-1-18 2F※駅北口からすぐ
TEL：092-332-9445
営業時間：9:00～21:00
HP：https://www.2525r.com/
●トヨタレンタカー
糸島市前原西1-12-7※駅北口から徒歩10分
TEL：092-324-0100
営業時間：8:00～20:00
HP：https://rent.toyota.co.jp/

・レンタサイクル

【外国人観光客への対応】

○英語パンフレットの配布

○観光案内所スタッフのインバウンド対応の強化

○福岡市・福岡県との事業連携

○JR九州、昭和バス等交通各社との連携

３．各種データ等の継続的な収集･分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
観光入込客数	糸島市への観光入込客数の実態把握	糸島市観光入込客推計調査
延べ宿泊客数	糸島市への延べ宿泊客数の実態把握	糸島市観光入込客推計調査
延べ外国人宿泊客数	糸島市への外国人入込客数の把握	糸島市観光入込客推計調査
上記項目のほか観光動態調査	発地別観光客数、来訪目的、同行者、交通手段、来訪スポットなどの把握	来訪者アンケート
旅行消費額	糸島市の観光による経済効果の実態把握	来訪者アンケート
来訪者満足度	来訪者の満足度を把握することで、提供サービス、観光コンテンツの見直し、改善を図る	来訪者アンケート

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

・糸島市は巨大消費地がある福岡市（人口 165 万人）の西に隣接する市域で、福岡都心から一時間以内で海、山などの景観や、歴史、グルメ、買物などを楽しめる都市。

・近年移住者や交流人口も増えつつあり、農業、漁業などの１次産業との連携のほか自然環境を維持しつつ、これらの地域資源を生かした観光のまちづくりを進めている。

・観光入込客数は、平成 12 年から令和元年まで（コロナ禍前）増加していた。コロナ禍により減少はしているものの、福岡都市圏から自然を求め糸島へ来られる観光客は増加傾向にある。また、令和５年 10 月頃からインバウンド客が増え、令和６年度はさらに増えた。

（別添）様式１

（２）地域の強みと弱み

	好 影 響	悪 影 響
内部環境	《強み（Strengths）》 ○豊かな自然・美しい風景 ○基幹産業である農林水産業と豊かな食 （農産品のブランド力と直売所の集客力） ○巨大マーケットの福岡都市圏・唐津に隣接 ○福岡市からの交通アクセスがよい ▽福岡市営地下鉄 JR 筑肥線 ・福岡空港 ▽高速バス・路線バス ○九州大学の存在 ▽調査や産品開発等における学生（若者）との連携、留学生との連携。研究事業のフィールドとしての活用 ○活躍する UI ターン者が多い ○一度来訪したらリピーターになる確率が高い ○四季折々の魅力や観光資源があり、季節を問わず観光客が多い ○糸島市が本所ではない事業者の事業所開設・店舗等出店の増加 （地場事業者の啓発、新たな雇用の創出、税収の増加）	《弱み（Weaknesses）》 ○自家用車やレンタカーでの来訪者増加による交通渋滞箇所の増加 ○着地型プログラムの不足 ○滞在時間及び消費行動を高める取組の不足 ○海側に対して、山側の魅力づくりの遅れ、情報発信の不足 ○域内二次交通の不足 ○団体客ニーズへの対応不足 ▽受入施設の不足、駐車場・道路の整備不足など ○インバウンド対応の遅れ ○市内で活躍する組織や団体のネットワークの構築不足（情報を共有する仕組みができていない、お互いを知らない） ○ICT 活用による情報発信 ○マーケティングの不足 ○市の農林漁業就業者の減少、後継者不足による産品の生産高の縮小、耕作放棄地等の増加 （景観や森林の荒廃）
外部環境	《機会（Opportunity）》 ○前原インターチェンジ周辺における産業団地の開発促進及び企業誘致の推進 ○福岡市の継続する人口増加 ○福岡市に来訪する外国人旅行者の増加 ○福岡市における大規模コンベンションの誘致及び開催 （国際学会、国際スポーツイベント等） ○福岡市の慢性的な宿泊施設不足 ○福岡市との観光連携事業の増加	《脅威（Threat）》 ○観光振興に取り組む他地域の存在、地域間競争の激化 ○人口減少・少子高齢化による国内の観光マーケットの縮小・衰退 ○農林水産業の後継者不足による一次産業と連携する観光関連産業の人材不足

（３）ターゲット

■第1ターゲット層

福岡市及び福岡都市圏からの個人及び団体客（福岡都市圏の居住者・来訪者）

◆選定の理由

○糸島市への来訪者の8割は、福岡都市圏からのマイカー×日帰り客である。

○人口全国第5位の福岡市をはじめ、人口が集中していることから、ターゲットに応じた効果的かつ積極的な情報発信を行うことにより、多くの観光誘客が期待できる。

○マイカーやJR利用で、日帰りであっても度々の来訪が可能。

○市外からの移住者・定住者（転勤族、学生等）が多く、糸島市の認知度を口コミで高めていくことに期待ができる。

○企業や各種団体の研修（社員旅行）のニーズが見込める。

◆取組方針

○観光客がマイカー等で立ち寄る観光施設、飲食店、直売所等に観光宣伝ツールを配置。
（周遊性、再訪率を向上）

○サイクルツーリズムの推進（レンタサイクル事業の拡充、ポートの増加、乗り捨て拠点の整備を行い、マイカー来訪者に対しても利用率を高める。福岡市と連携し、パーク＆ライド事業を実施）

○“糸島ならでは”の地域資源を活用した、ツーリズム商品開発及びインターネットによる情報発信の強化。

○企業研修、学生の合宿等小グループのニーズに合わせたプランやプログラムの開発と販売。
（団体客による経済効果の向上・市内事業者の連携体制の確立）

○JR九州や昭和自動車、レンタカー事業者と連携した企画商品の造成販売等、商品販売網の確立。
（マイカー所有者ではない層の取り込み）

■第2ターゲット層

首都圏・関西圏などの大都市圏の若年層の個人客

◆選定理由

○レンタサイクルは、首都圏、関西圏からの需要が多かったが、昭和バスの実数からみて、近年は福岡市内から直通バスなどを使い、来訪する顧客が増えつつある。

▼R6 年度の観光協会レンタサイクル国内利用者は、前年度から減っているものの、依然として
首都圏 36％／関西圏 18％を占めている。
年齢層も 20 代だけで 45％、10 代 10％と、若年層の取り込みもできている。

○個人のSNSによる情報発信意欲が旺盛。（口コミ力に効果あり）

◆取組方針

○SNSによる情報発信、当協会のホームページ改編により“旅まえ”での情報提供強化。

○レンタサイクル事業の拡充。（市内レンタサイクル拠点の乗り捨て事業）

○2次交通の拡充及び改善。（サイクリングロードの整備等、市内バス新路線の周知、ルート設定）

○大手旅行業者との連携。団体旅行の糸島ランドとして団体旅行の手配代行事業も行う。

（別添）様式１

■第3ターゲット層① **福岡市に来訪する英語圏（香港、シンガポール、欧米豪）と英語を話せるアジア圏の個人旅行者（FIT）**
◆選定の理由 ○近年、観光協会への外国人来訪者数が急増している。 （R5 年度：3，793人⇒R6 年度：4，467人/前年度比117．8％） ○国、九州観光推進機構、福岡県等が重点施策としていることから、広域による推進体制を構築できる。 ○福岡空港やJR博多駅が玄関口となっており、鉄道やバスでの誘客がしやすい。 ○消費行動が活発。 ○自然や芸術、食文化への興味度が高い。 ○口コミ力が高い。（SNS等） **◆取組方針** ○英語パンフレットの拡充。 ○レンタサイクル事業のインバウンド対応の実施（運転免許がいらない）。 ○外国人向けツーリズム商品の開発。 ○インターネットによる海外に向けた情報発信の強化。 （観光協会サイトの多言語化、外国人のユーザーが多い旅行情報サイトを活用した情報発信等） ○国内居住の外国人を対象としたモニターツアーの実施。 ○協会窓口へのカード決済、スマートペイ導入。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	○糸島の豊かな自然環境や、景観、地域資源を維持し、子供たちが未来に誇れるまちづくりをするとともに、それぞれの地域特性を生かした魅力を創造し、異業種間の連携を深め、昔と今と未来、地域と来訪者などを**『つなぐ糸島』**を目指す。
②コンセプトの考え方	○糸島の強みである『食』、『糸島人の寛容さ』と来訪者をつなぎ、心に残るおもてなしを行ない、地域価値を高める。 また、先人たちが守ってきた『豊かな自然』、『文化』など来訪者や市民にとって心地よい環境、コミュニティを守り、発展させ未来へつないでいく。 ○糸島人と来訪者がつながることで、観光交流人口などが増え、市内に住む人々の元気や生活・文化の意識の向上をもたらし、その豊かさが糸島人であることの誇りや愛着が沸くことにつながり、ますます観光交流の輪が広がっていく。その先には移住、定住に発展する可能性もある。 ○目指す将来像 「未来へつなぐ　持続可能な観光都市“糸島”」 （第2次糸島市観光振興基本計画）

（別添）様式１

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整･仕組み作り、プロモーション

戦略の多様な関係者との共有	○地域DMOを中心として、地域の観光関連事業者や多様な企業や団体を集めた(一社)糸島市観光協会の理事会を定期的に開催することにより、関係者間の意思疎通や戦略及び事業の方針や成果の共有を進める。
	○また、地域 DMO が実施する事業を通して、関係者の意思疎通を図るとともに、PDCA を繰り返し、まち全体が同じ目標に向かって事業展開できるように事業を進める。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上･評価する仕組みや体制の構築	○当協会や各事業者、団体に寄せられる来訪者･利用者からの意見や要望をアンケート等により集約し、地域が提供する観光サービスの向上について検討を行うことで、来訪者が快適に糸島滞在することが出来るサービスの提供や環境の整備を進めていく。
一元的な情報発信･プロモーション	○今まで、糸島市と観光協会がそれぞれ独自に行ってきた情報発信･プロモーションについて今後、糸島市と協議を重ねより戦略的にプロモーションを打っていき効率的で効果的な活動の展開を図る。JR筑前前原駅北口にある(一社)糸島市観光協会を情報発信拠点として一元化し、地域の観光地や観光スポット、観光資源に対して、わかりやすく、地元ならではの情報提供を行う。

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（百万円）	目標	16,130	16,700	17,160	16,000	16,160	16,320
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
	実績	14,914	15,590	15,750			
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
●延べ宿泊者数（千人）	目標	149	158	167	175	183	185
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
	実績	145	171	178			
		(7)	( )	( )	( )	( )	( )
●来訪者満足度（%）	目標	96	97	98	99	100	100
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
	実績	97	91	95			
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
●リピーター率（%）	目標	60	65	70	71	72	73
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
	実績	53	38	67			
		( )	( )	( )	( )	( )	( )

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値。

※2022 年度以外の実績は、各年秋に行った 3 ヶ所(伊都菜彩, 二見ヶ浦, 白糸の滝)アンケートによる。
2022 年度の実績は、2022 年秋に行った 3 ヶ所(伊都菜彩、二見ヶ浦、雷山観音)アンケートによる。

（別添）様式１

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

◆コロナ禍のため、令和３年度に目標再設定（来訪者満足度とリピーター率はR3年度8～9月実施のアンケートを基に策定。令和８年度以降は、令和７年度策定予定の糸島市観光振興計画に基づき再度設定。

◆旅行消費額

糸島市観光入込客推計調査により算出する。観光振興における受益（収益）の柱となる項目として選定。令和7年度に今後、継続的に調査を行うための調査手法の検討を行う。令和元年度（2019年度）からは、レンタサイクル事業の展開による売上見込みを加味して設定。

◆延べ宿泊者数

糸島市観光入込客推計調査により算出する。旅行消費額の拡大に関して、宿泊は重要な要素であることから、延べ宿泊者数を項目として選定。インバウンド事業の強化による効果を検証するために、外国人旅行者延べ宿泊者数も別途設定する。令和元年度（2019年度）以降は、新たに開業したゲストハウス等の民泊施設との連携事業の展開による増加見込みを加味している。

◆来訪者満足度

再来訪、果ては移住・定住につながる観光地域づくりにおける重要な要素であることから指標項目として選定。

◆リピーター率

「来訪者満足度」につながるものとして、また、戦略としては、福岡都市圏より度々の来訪客を狙っていることにより、指標として設定。ツーリズム商品（体験プログラムやツアー等）や新規イベントの開催などの展開とともに、毎年「何かが起きている」というイメージを創出することにより、リピーター率の増加を図る。

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●ワンストップ窓口での観光案内数（人）	目標	15,000	20,000	25,000	26,000	27,000	28,000
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	18,330	16,933	19,166			
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
●ワンストップ窓口での外国人観光案内数（人）	目標	500	1,000	2,000	2,600	2,700	2,800
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	886	3,768	4,467			
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
●レンタサイクル利用者数（人）	目標	2,455	2,480	4,500	5,500	6,000	6,000
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	5,654	7,011	6,535			
		(103)	(1,147)	(2,067)	（ ）	（ ）	（ ）
●観光協会HPアクセス数（セッション）	目標	855,000	940,000	950,000	1,100,000	1,200,000	1,300,000
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	450,860	916,700	1,061,338			
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）

（別添）様式１

●住民満足度（%）	目標			68	68.5	69	70
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	68.6	67.1				
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

○糸島市観光振興計画改定の為、R8 年度にて目標再設定。

○糸島市観光協会は、ＤＭＯ化にあたって、令和元年度から観光案内所の窓口案内業務（レンタサイクルの受付等含む）が糸島市からの委託業務として加わり、また、財源確保の自主事業としてレンタサイクル事業を当面のメイン事業との設定を行った。そこで、観光案内所の来訪者数とレンタサイクルの利用者数を指標項目に設定した。

○令和元年度（2019 年度）以降は、インバウンド事業も強化していくことから、案内数は、日本人と外国人と別に目標を設定することとした。

○併せて、日々のプロモーション等の効果を検証する数値として、HPアクセス件数を指標項目とした。

○住民満足度については、市役所が毎年実施する満足度調査結果を指標、項目とする。

【設定にあたっての考え方】

◆ワンストップ窓口での観光案内数（総数／外国人数）

平成 28 年度～平成 29 年度の数値を基準に、平成 30 年度以降は、レンタサイクル事業の拡充により、前年比5%の増加率で設定。

◆レンタサイクルの利用者数

レンタサイクルについては、平成 29 年度に4台から 13 台に、平成 30 年度に 13 台から 23 台へと自転車の増車を行っている。ただし、平成 29 年度の増車は 11 月からの実施であった。平成 30 年度も、12 月に 10 台の増車を行った。

令和元年度（2019 年度）以降については、令和元年度（2019 年度）にレンタルポート（2か所）を増設。

令和3年度（2021 年度）は観光協会レンタサイクル 17 台にて営業（レンタルポートは2か所7台）。

令和4年度に古い自転車と新しい自転車の刷新をはかり、レンタサイクル 35 台で運用。

令和6年度にも増車し、現在レンタルポートは2ヶ所5台、観光協会で 22 台の運用。

◆観光協会 HP のアクセス数

糸島市の認知度や来訪意向度が高まる中で、観光協会HPへのアクセス数も順調に伸びている。令和元年度（2019 年度）以降は、5%ずつの増加を目標値として設定する。

◆住民満足度

住民満足度については、市役所が毎年実施する満足度調査結果を指標、項目とする。

（別添）様式１

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年度	総収入(円)	内訳	
		項目	金額(円)
2022 年度 （実績）	124,182,151		
		【会費】	4,055,000
		【国・県等からの委託金】	15,344,087
		【市からの委託金】	69,562,679
		【事業等収入】	17,571,618
		【雑収入】	750,858
		【繰越金】	16,897,909
2023 年度 （実績）	77,858,697		
		【会費】	4,020,000
		【国・県等からの委託金】	10,927,900
		【市からの委託金】	14,127,723
		【事業等収入】	24,308,607
		【雑収入】	511,995
		【繰越金】	23,962,472
2024 年度 （実績）	75,824,610		
		【会費】	4,045,000
		【国・県等からの委託金】	6,572,250
		【市からの委託金】	13,428,182
		【事業等収入】	30,799,395
		【雑収入】	177,530
		【繰越金】	20,802,253
2025 年度 （予算）	73,006,229		
		【会費】	4,050,000
		【国・県等からの委託金】	6,277,000
		【市からの委託金】	12,789,000
		【事業等収入】	30,512,000
		【雑収入】	150,000
		【繰越金】	19,228,229
2026 年度 （概算） 見込み	72,281,229		
		【会費】	4,050,000
		【国・県等からの委託金】	6,300,000
		【市からの委託金】	13,000,000
		【事業等収入】	31,000,000
		【雑収入】	150,000
		【繰越金】	17,781,229
2027 年度 （概算） 見込み	72,031,229		
		【会費】	4,050,000
		【国・県等からの委託金】	6,400,000
		【市からの委託金】	13,000,000
		【事業等収入】	32,000,000
		【雑収入】	100,000
		【繰越金】	16,481,229

（別添）様式１

（２）支出

年度	総支出(円)	内訳	
		項目	金額(円)
2022 年度	124,182,151		
（実績）		【受託事業実施費】	27,827,472
		【その他事業実施費】	63,530,946
		【収益事業等実施費】	6,998,647
		【負担金･税金】	1,862,614
		【予備費】	23,962,472
2023 年度	77,858,697		
（実績）		【受託事業実施費】	22,789,896
		【その他事業実施費】	11,797,451
		【収益事業等実施費】	22,398,097
		【負担金･税金】	71,000
		【予備費】	20,802,253
2024 年度	75,824,610		
（実績）		【受託事業実施費】	21,197,143
		【その他事業実施費】	5,903,352
		【収益事業等実施費】	29,423,686
		【負担金･税金】	71,000
		【予備費】	19,229,429
2025 年度	68,006,229		
（予算）		【受託事業実施費】	20,419,000
		【その他事業実施費】	6,941,000
		【収益事業等実施費】	27,565,000
		【負担金･税金】	300,000
		【予備費】	12,781,229
2026 年度	72,281,229		
（概算）		【受託事業実施費】	20,500,000
※見込み		【その他事業実施費】	7,000,000
		【収益事業等実施費】	28,000,000
		【負担金･税金】	300,000
		【予備費】	16,481,229
2027 年度	72,031,229		
（概算）		【受託事業実施費】	20,500,000
※見込み		【その他事業実施費】	7,000,000
		【収益事業等実施費】	28,000,000
		【負担金･税金】	300,000
		【予備費】	16,231,229

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

○レンタサイクル等二次交通事業の拡充による収益の確保
○滞在型集客交流事業（体験交流プログラムの開発、買い回りチケット事業等）の企画･コーディネート･販売による収益の確保
○観光協会窓口来訪者をターゲットとした、地域の食材を活用したお土産商品･テイクアウト商品の開発と販売による収益の確保
○国･県･市等の委託事業による収益の確保
○地域限定旅行業、第三種旅行業を取得により、地域の観光素材を当協会に集約するとともに、ワンストップの案内、予約システムを構築し旅行商品を販売による収益の確保

８．観光地域づくり法人形成･確立に対する関係都道府県･市町村の意見

福岡県糸島市は、（一社）糸島市観光協会を全力で支援し当該市における地域DMOとして登録を希望いたしますので、（一社）糸島市観光協会として申請いたします。

９．マーケティング･マネジメント対象区域が他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

（別添）様式１

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	高田秀峰
担当部署名（役職）	糸島市観光協会
郵便番号	819-1116
所在地	福岡県糸島市前原中央 1-1-18
電話番号（直通）	092-322-2098
ＦＡＸ番号	092-332-7508
Ｅ－ｍａｉｌ	h.takada@kanko-itoshima.jp

１１．関係する都道府県･市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	福岡県糸島市
担当者氏名	下尾　修
担当部署名（役職）	糸島市　経済振興部　ブランド政策課　課長
郵便番号	819-1192
所在地	福岡県糸島市前原西 1-1-1
電話番号（直通）	092-332-2080
ＦＡＸ番号	092-324-2531
Ｅ－ｍａｉｌ	tourism@city.itoshima.lg.jp

都道府県･市町村名	福岡県糸島市
担当者氏名	岡本　由貴
担当部署名（役職）	糸島市 経済振興部 ブランド政策課 係長
郵便番号	819-1192
所在地	福岡県糸島市前原西 1-1-1
電話番号（直通）	092-332-2080
ＦＡＸ番号	092-324-2531
Ｅ－ｍａｉｌ	tourism@city.itoshima.lg.jp

（登録）【地域DMO】一般社団法人 糸島市観光協会

様式２

記入日：　令和7年7月31日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
　福岡県　糸島市
【設立時期】　平成27（2015）年4月1日
【設立経緯】　③区域の観光協会がDMOに移行
【代表者】　代表理事　田中　信彦
【マーケティング責任者（CMO）】　貝通丸　希
【財務責任者（CFO）】　高田　秀峰
【職員数】　12人（常勤4人（正職員3人・契約職員1人）、非常勤8人）
【主な収入】
　収益事業31百万円,委託事業20百万円,会費4百万円(24年度決算)
【総支出】
　事業費53百万円、一般管理費　3百万円（24年度決算）
【連携する主な事業者】
　JA糸島農業協同組合、JF糸島漁業協同組合、糸島市商工会、糸島旅館組合、九州大学、中村学園大学、ボランティアガイド団体、福岡銀行、JR九州、昭和自動車、タクシー事業者、貸切バス事業者、レンタカー事業者、福岡県観光連盟、九州観光機構、など

KPI（実績・目標）

※（　）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年	2023（R5）年	2024（R6）年	2025（R7）年	2026（R8）年	2027（R9）年
旅行消費額（百万円）	目標	16,130（　）	16,700（　）	17,160（　）	16,000（　）	16,160（　）	16,320（　）
	実績	14,914（　）	15,590（　）	15,750（　）	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	149（　）	158（　）	167（　）	175（　）	183（　）	185（　）
	実績	145（7）	171（　）	178（　）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	96（　）	97（　）	98（　）	99（　）	100（　）	100（　）
	実績	97（　）	91（　）	95（　）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	60（　）	65（　）	70（　）	71（　）	72（　）	73（　）
	実績	53（　）	38（　）	67（　）	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
　福岡市及び福岡都市圏からの個人及び団体
　東名阪大都市圏からの若年層個人客
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
　“糸島ならでは”の地域資源を活用した、ツーリズム商品開発及びインターネット、SNSによる情報発信の強化。
2次交通の拡充及び改善。
域内調達率向上に向けた取り組み
【観光地域づくりのコンセプト】
　地域市民と来訪者等をつなぐ『つなぐ糸島』

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・域内周遊バスの運行(二次交通)
　カキ小屋、歴史探訪、カフェめぐり
・水産物情報発信(域内調達率向上)
・外国語マップ、サイトの作成
・地域素材を取り入れた商品造成
　地引網体験
【受入環境整備】
・公衆トイレの改装（市役所）
・道路に矢羽根舗装（県、市）
・HP改装、予約決済機能搭載
【情報発信・プロモーション】
・R4年4月より市役所とHP一元化
・HPにて逐次情報発信
・SNSにて随時情報発信
・首都圏、関西にて商談会参加
　(BtoB,BtoC)
・新聞、放送、雑誌等取材の
　積極的協力
【その他】
・域内各主催イベント等の協力